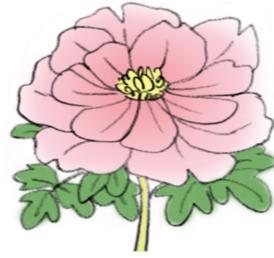


埼教組の更なる躍進と 次の世代を意識したとりくみを



定期大会において「財政再建・組織建設新たな3ヵ年計画（以下：3ヵ年計画）」を承認しました。今年度はその3ヵ年計画を実行する初年度です。

コロナ禍において、労働組合の存在は、様々な業種や立場の方の希望となっていました。

労働組合があることで、権利や身分が保障されることを、身をもって経験した人々がこの間

増えていることがその

証拠です。

第2206号

編集兼発行人
埼玉県教職員組合情報宣伝部
さいたま市浦和区高砂3-12-24教育会館内
電話048(824)2511
(一部10円)
月刊毎月15日発行

(組合員の購読料)
(は組合費に含む)

埼教組メールアドレス
saikyouso@kyouiku-net.org

埼教組ホームページ
<http://www.kyouiku-net.org>

中学校に勤務すること

になりました。憧れていた教師とい

う職に就けたことに、私は喜びと期

待で胸を膨らませていました。

しかし、新型コロナウイルスの影響

による5月末までの休校、また休

校による授業時数の減少。私の持つ

スクール構想』を代表とする、現場実態や子

どもの発達段階を無視し教育施策が恐ろしい

早さで推し進められています。「教育とは何

か」を改めて問い合わせる

すべての子どもたちにゆきどいた教育に

必要なものは何かを考え、声を挙

え、声を挙げる埼教組の姿に注

目が高まっています。

私は昨年度、臨時の仕事も多く、教師という仕事の大変

さ・責任の重さを、身をもって体験

することとなりました。最も

大きな波となりました。

から埼教組の存在を知りました。最

後もこれまで抱え込んでしまった

私にはとても貴重で、なくてはなら

ない存在だと思いました。一人で

いる方や、数少ない技術科の方もい

らつしゃいました。様々な知識や経

験をお持ちの方々と交流できる場は、

私にはとても良かつたと

思っています。

今年度は、初めてクラスの担任を

持つことになりました。新しい環境

と新しい仕事に緊張で押しつぶされ

そうですが、困ったときは一人で抱

え込み、周りと相談・協力しながら

励んでいきたいです。

増えて

いる

こと

が

そ

れ

で

あ

る

よ

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

な

う

